

ファン待望、天満敦子3年ぶりの新作は「旅人のうた」！  
「人生は旅」をテーマに、名手岡田博美とともに、人生の哀歌・応援歌を謳いあげます。  
天満にとって初の192kHz/24bit 高品質録音！  
「望郷のバラード」(原曲のピアノ伴奏版)も収録！

## 旅人のうた／天満敦子



2015年6月24日発売 CD:KICC-1150 定価¥2,778+税

録音:2015年4月21日、24日 川口リアホール【192kHz/24bit 高品質録音】

01. 旅人の詩<うた>(小林亜星)
02. 花は咲く(菅野よう子/和田 薫編)
03. 雪の降る街を(中田喜直)
04. 五木の子守唄(熊本県民謡)【無伴奏】
05. からたちの花(山田耕筰)

ヴァイオリンとハーブと弦楽オーケストラのための雅俗二譚【ピアノ・リダクション版】(和田 薫)

06. 第一譚
07. 第二譚

ヴァイオリンとピアノのためのソナタ ニ長調(1953)(間宮芳生)

08. 第2楽章:アンダンテ
09. スワニー河(故郷の人々)(フォスター/クライスラー編)
10. 家路(ラルゴ)(ドヴォルザーク/クライスラー編)
11. 白鳥(サン=サーンス)
12. アヴェ・マリア(グノー)
13. 望郷のバラード(ホルムベスク)
14. 月の沙漠(佐々木すぐる/柿沼 唯編)【無伴奏】  
<ボーナストラック>
15. オンブラ・マイ・フ(ラルゴ)(ヘンデル)【ヴィオラ ver. 】

天満敦子 (ヴァイオリン) (01-14)、(ヴィオラ) (15)  
岡田博美 (ピアノ) (04、14を除く)

●昨年も全国を飛びまわって年間公演回数が100回を超えている天満敦子。ロンドンを拠点に世界各国でコンサートを積み重ねている岡田博美。“旅人”ふたりの共演は昨年(2014年)も11月に紀尾井ホールで行なわれ、ホールを埋めた聴衆から大喝采を浴びました。

●ふるさとを想い、涙する・人生はさすらう旅人のようなもの。心のふるさと・日本のうた、世界各地の旅先で思いを馳せる歌、“弾いて祈る”うた、そして定番「望郷のバラード」まで、岡田博美の絶妙のピアノにのせて、天満が謳いあげます。

●「雅俗二譚」は和田薫が天満のために書き下ろした新曲で、「天満さんとの10年の道程の集大成」(和田)です。本年(2015年)3月にサンアゼリア・フィルハーモニカの委嘱作品として初演された同曲を、今回のアルバムのためにピアノ・リダクション版として編曲し、この録音の世界初演となります。抒情と熱情、二つの側面にわたって天満ワールドが全開します。

「花は咲く」は3・11の大震災以後毎年福島を訪れているコンサートで、会場を埋めた子どもたちのリクエストから、和田薫に編曲をお願いして生まれました。

間宮芳生の作品は師弟関係の二人にとって思い出の曲。第2楽章は東北地方の民謡を素材にした抒情性豊かな旋律が特徴です。

「旅人の詩くうた」は、天満の“追っかけ”を自称している小林亜星が天満に捧げた曲。「奥の細道を行く旅人が出逢った東北の心象風景」を名手岡田博美と共に描きつくして余すところありません。このほか、「雪の降る街を」、「からたちの花」、「五木の子守唄」など日本の名歌、「スワニー河」、「家路」、「白鳥」など西洋の名曲を情感豊かに謳いあげています。ボーナストラックとして収録の「オンブラ・マイ・フ」では、愛器をヴィオラに持ち替えて、演奏を初公開しています。

●天満にとっては初の【192kHz/24bit 高品質録音】になり、愛器ストラディヴァリウスが奏でる強大な美音を余すところなく捉えます！

## 【発売記念！天満敦子・岡田博美デュオ・リサイタル】

2015年6月26日(金)13:30 横浜・みなとみらいホール

2015年10月23日(金)19:00 東京・赤坂 紀尾井ホール

## 【天満敦子 PROFILE】



東京都出身。6歳よりヴァイオリンをはじめ、小学校時代、NHK・TV「ヴァイオリンのおけいこ」に出演。講師の故江藤俊哉氏に資質を認められて音楽家への道を志した。東京芸大在学中に日本音楽コンクール第1位、ロン・ティボー国際コンクール特別銀賞等を受賞して注目を浴びる。海野義雄、故レオニード・コーガン、ヘルマン・クレッパースらに師事。

1992年「文化使節」として訪れたルーマニアで、「ダヴィッド・オイストラフ以来の感激」(同国文化大臣)と高い評価を受け、公演は空前の成功を取めた。翌年この訪問が縁で巡り会った同国の「薄幸の天才作曲家」ホルムベスクの「望郷のバラード」を日本に紹介、以後この作品は天満敦子の代名詞とさえ言えるほどのクラシック界異例の大ヒット曲となった。憂いをおびた美しい旋律とともに、曲に秘められたエピソードも話題をよんだ。

朝日新聞朝刊に1998年7月から1年余り連載された小説「百年の預言」(著/芥川賞作家高樹のぶ子)に登場する情熱の女主人公走馬充子(そうまみつこ)は彼女がモデル。作品を貫いて流れる憂愁の旋律(バラダ)は、言うまでもなく「望郷のバラード」。

NHK・BSと総合で95年より再三放映された「わが心の旅・漂泊のバラダ」は視聴者に深い感動を与えた。2000年文芸春秋社より自伝的エッセイ「わが心の歌 望郷のバラード」が処女出版され、好評を得て版を重ねている。2005年5月以降再三放送されている

るNHKスペシャルのドキュメンタリードラマ「望郷」(脚本・演出/岡崎栄)では同年1月の紀尾井ホールでの「望郷のバラード」演奏シーンが使われ、曲の美しさに加え、天満敦子の人間的魅力が改めて脚光を浴びた。

これまで多数のCDを発売。そのうち、1993年録音の「望郷のバラード」(アートユニオン)は大ヒットとなり、「現代日本のヴァイオリン音楽・抄」は文化庁芸術作品賞に輝く。キングレコードへの移籍後、この秘曲との巡り合い10周年を記念して2003年秋に発売された「Balada(望郷のバラード)」は高い人気を得て、これまたロングセラーを記録している。2004年1月放送の「吉岡秀隆シルクロード浪漫」(東海テレビ開局45周年記念特番)では小林亜星が作曲したテーマ曲の演奏を担当。同時にCD「シルクロード浪漫」を発売。5月には初のDVD「望郷のバラード～天満敦子 in 葉山 2004」(神奈川県立近代美術館葉山開館記念ミュージアムコンサート)もリリースされた。また11月には待望のバッハ「無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパルティータ」全曲CDが発売され、楽壇の注目を集める。2005年4月には天満ファンを自認する小林亜星の書き下ろし作品3曲を含む「日本のうた」アルバム「ねむの木の子守歌」、9月にはオルガンの小林英之と共演した「祈り」が完成して、好評発売中。2005年12月「ねむの木の子守歌」が第47回日本レコード大賞企画賞を受賞という栄誉に輝いた。2006年9月には「旅へのロマン」をテーマにしたCD「ツィゴイネルワイゼン」を、2007年6月には「愛」をテーマにしたCD「愛のあいさつ」をリリースし、これまたベストセラーを記録している。

天衣無縫、個性味あふれる語り口と、ステージにおける強烈な自己投入が、彼女の魅力と言われるが、その裏に秘められた深い譜読みと、絶えざる研鑽の日々を知る人は少ない。現在、東邦音楽大学大学院教授。

使用のヴァイオリンはアントニオ・ストラディヴァリウス晩年の名作。弓は伝説の巨匠ウージェーヌ・イザイ遺愛の名弓。

## 【岡田 博美 PROFILE】

富山県出身。安藤仁一郎、森安芳樹、マリア・クルチオの各氏に師事する。

桐朋学園大学在学中の1979年、第48回日本音楽コンクールで第1位優勝。

桐朋学園大学を首席で卒業後、1982年第28回マリア・カナルス国際コンクールで第1位(スペイン音楽解釈特別賞を併せて受賞)、1983年第2回日本国際音楽コンクールピアノ部門第1位、1984年第2回ブレトリア国際コンクールにて第1位(リサイタル賞を併せて受賞)と、次々に優勝をはたし注目を集める。

1984年からロンドンに居住。

翌1985年、ロンドンでデビューリサイタルを行い、「まさしく来るべきスター」(デイリー・テレグラフ紙)「図抜けて確かなテクニックで想像力に情熱的な音楽性」(タイムズ紙)と絶賛された。

以後、ロンドンを中心に東西ヨーロッパで各地で演奏活動を続けながら日本においても、毎年意欲的なプログラムによるリサイタルを行い、1993年のショパン・エチュード全曲演奏に対して第20回日本ショパン協会賞を受賞。

1995年よりスタートした"岡田博美"の"マイクロコスモス"シリーズは、毎回意欲的なプログラムで広く話題を集めた。1997年1月にはロンドン・ウィグモアホールにてリストの超絶技巧練習曲全曲を含むシリーズ・リサイタルを行った。

2004年から10年に渡る「フランス・プラス」のシリーズでは、デュカス、フローレンス=シュミット、ルーセルなどの隠れた名曲を数多く紹介。

オーケストラとの協演も多く1987年にフィルハーモニア管弦楽団とロイヤル・フェスティバル・ホールのデビューを果たした後、海外ではBBC交響楽団、ロイヤル・フィルハーモニック管弦楽団、イギリス室内管弦楽団などと、また日本では、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団ほかと協演。室内楽の分野にも力を注いでおり、ウィーンフィルのメンバーやバイオリンの天満敦子、川島成道等と共演している。また2011年より夏の草津音楽祭で、室内楽の独奏会や後進の指導にあたっている。

CDはカメラータを中心に、日本コロムビア、ナクソスなどから発売されている。

「岡田博美を後援する会」は1995年6月に結成され、現在に至る。